

## 多施設用

### 研究実施についてのお知らせ

令和3年1月12日

#### 【研究課題名】

COVID-19 流行下における、沖縄県の季節性呼吸器ウイルス感染症に係る特徴

#### 【研究期間】

倫理委員会承認後～2021年6月30日

#### 【研究対象】

2017年4月1日～2021年3月31日に当院もしくは沖縄県立南部医療センター・こども医療センター、沖縄県立北部病院、沖縄県立宮古病院、沖縄県立八重山病院の各施設で「RSウイルス感染症」または「インフルエンザウイルス感染症」と診断され入院となった、18歳以下の患者さま

#### 【研究目的・意義】

インフルエンザウイルスやRSウイルスに代表される季節性の呼吸器ウイルス感染症は、急性の気道感染症の主な原因です。これらの感染症は例年似た時期に流行しますが、日本の本州と沖縄県とでは流行時期の異なることが知られています。

2019年に新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）が発生して以来、全世界で感染の拡大が続いています。日本を含む世界各国で感染対策が行われており、その効果としてインフルエンザウイルス・RSウイルスの感染者は例年より著明に減少したと報告されています。しかし、沖縄県ならびに日本の一部地域では2020年秋にRSウイルス感染症の流行を経験しており、他の地域・国とは異なる状況です。

COVID-19発生前後の季節性呼吸器ウイルス感染症例を比較し、小児の呼吸器ウイルス感染症の伝播に寄与する要因について検討させていただきたく本研究を計画いたしました。

#### 【研究方法】

- 1) 各施設の担当医はあなた、またはあなたのご家族の「RSウイルス感染症」または「インフルエンザウイルス感染症」に関連した臨床情報を、匿名化した後に専用のデータベースへ入力します。
- 2) 各施設で集められたデータは、個人情報（氏名・患者ID等）を含まない形で研究代表機関へ提供され、解析されます。
- 3) 解析された結果は、学会・学術論文で発表される予定です。

#### 【研究に用いられる試料・情報の種類】

試料：使用する予定はありません

情報：性別、検査陽性日の月齢（または日齢）、基礎疾患、有症状者との接触歴、迅速インフルエンザウイルス・RSウイルス抗原検査またはPCR検査の実施日および結果、新型コロナウイルス検査の実施有無・結果、血液培養・尿培養の結果、入院期間、集中治療室への入室有無および入室期間、人工呼吸器装着期間、転帰

#### 【外部への試料・情報の提供】

各施設より取得する情報は、個人が特定される情報は記載しない形で研究責任者（沖縄県立中部病院）へ集約されます。対応表に関しては、各施設の研究担当者が保管・管理します。

#### 【個人情報の取り扱い】

利用する情報から氏名や住所、受診日等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除します。また、個人を特定できる情報は利用しません。

#### 【研究組織】

##### ・実施責任者

荒木 かほる 沖縄県立中部病院 小児科

##### ・分担者

張 慶哲 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 小児感染症科

福岡 弘望 沖縄県立宮古病院 小児科

荒木 孝太郎 沖縄県立八重山病院 小児科/感染症科

#### 【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院 診療科名：小児科 担当者名：荒木 かほる

電話番号：098-973-4111（代表）